

メガネの正しい取り扱い方

掛けるとき

テンプル(つる)をきちんと開いて、顔に添わせながら正面より、ゆっくり掛けてください。この時、テンプルの先で目や顔を突かないよう、ご注意ください。

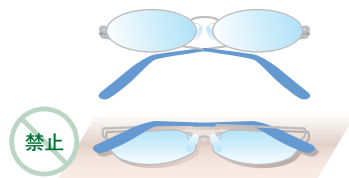


はずすとき

テンプル(つる)を持って、顔に添わせながら、正面よりゆっくり行ってください。片方のみを持って無理にはずしますと、破損、変形、ゆるみ等の原因となります。

置くとき

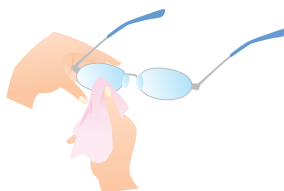
レンズの凸面を上向きにして、置いてください。下向きにしますと、レンズにキズが入ります。



拭くとき

拭く方のレンズの外側を持って、「レンズ専用メガネ拭き」で、そっと拭いてください。拭く方の反対側を持ったり、力を入れすぎたりしますと、フレームやレンズが破損することがあります。

拭く方の外側を持つ



レンズにキズやひび割れが入りますと、コートがはがれやすくなります。誤った取り扱いをしますと、いろいろな不具合を生じますので、ご注意ください。

レンズに異物やホコリ等が付着しているとき

キズに強いコート加工のレンズでも、まず水洗いをしてください。ティッシュペーパーで水気を取り、きれいな「レンズ専用メガネ拭き」で軽く拭いてください。空拭きしますとキズが入ります。



汚れがひどいとき

中性洗剤を薄めた液で洗ってください。そのあと水洗いをして前記と同様に拭いてください。石鹼、ハンドソープ等のアルカリ性や酸性の洗剤、シンナーなどの溶剤は、使用しないでください。コートがはがれる原因となります。

メガネが濡れたとき

すぐにメガネ拭きで拭いてください。そのまま放置されますと、レンズに水跡がシミのようになって取れなくなります。また、フレームは金属部のサビや、樹脂の変色・変質の原因となります。

持ち運びするとき、使用しないとき、保管するとき

持ち運びする際や使用しない場合は、手入れをしたうえで、図のようにレンズ部をメガネ拭きでくるんでから、メガネケースに入れてください。また、保管の際は、防虫剤、洗剤、化粧品、整髪料、薬品等の入った場所に保管しないでください。レンズ、フレームの変質、変色、劣化の原因となります。

